

17047

題：紙の必要性

名前：

私は、インターネットの普及により、誰もが簡単に情報を入手できるようになることで、新聞や雑誌は必要なくなると思います。なぜなら新聞や雑誌などわざわざ買ったとしても、家の中でパソコンの電源をつければ、電車の中で携帯電話を開けば、雑誌や新聞にのせられているのと同じような、あるいはそれ以上の情報を得ることができ、一度にかなり多くの情報を得ることができ、しかもその中から必要な情報を手軽に見ることができるので、情報も限られ、その入手に手間のかかる雑誌や新聞などよりインターネットの方が便利です。

インターネットは利用できる人が限られ、しかも利用できる人の間にもデジタルデバイスなどの問題があり十分に活用できない人も多くいるため、雑誌や新聞はまたこれからの必要だ、という意見があるかもしれません。しかし、現在世界中でインターネットは急速に普及しており、今まで利用できなかった地

域でも利用できるようになってきています。確かに現在はインターネットを活用できない人もいますが、そのうち情報を必要とする全ての人が、情報の入手、閲覧に関して最低限必要なスキルを身につけ、雑誌や新聞の必要ない時代が来ます。またインターネットの長所として双方向性という特徴があります。出版社から与えられた情報を受け取るだけでなく、逆方向への働きかけによって新たな情報のやり取りの形態が生まれる可能性は大きいにあり、既に存在しています。論点がずれますが、雑誌、新聞は資源を無駄にします。

インターネットは雑誌、新聞の担ってきた役割を全て果たせる上に、より手軽にその役割を果たせ、またそれ以上の能力も持っているため、インターネットが広く普及することによって、旧来の情報交換の手段は徐々に姿を消していくと思います。

1800字